

あなたの里山活動は、CO₂何トンの吸収量に相当するか あなたも計算できるシステムがスタート

(千葉県における森林のCO₂吸収量認証制度の仕組みと活用)

日時：2009年7月13日(月)午後6:30~8:30

場所：千葉市中央コミュニティーセンター 階 研修室
(JR千葉駅よりモノレール市役所前下車)

講師：並木康雄氏 千葉県森林課森林政策室

参加費：無料(事前申し込み不要)

皆さんの行っている特定の森林をよくするための作業(間伐や保育、管理など)を量的に表現するシステムが出来上がりました。京都議定書の条件にしたがって、個々の里山活動の質と量がCO₂何トンの吸収量に相当するかを、活動者自身でも計算できる千葉県版のシステムが近々、スタートします。

昨年11月には国の「オフセットクレジット(J-VER)」制度が発足し、事業活動等に伴うCO₂排出量を森林整備活動によって生ずる吸収量と相殺(オフセット)する目的で売買する事も可能となりましたが、事例はまだありません。

政策分科会では第1部として4月11日にJ-VER制度勉強会を開催しましたが、その後の動きを今回勉強しようというものです。

千葉県では林業の不振や里山の荒廃など多くの課題を抱えておりますが、「CO₂吸収量の認証制度」は、林業者や、市民・企業などの活動が個々に数値的な目標を掲げることのできる新しいシステムです。

県が計画している新たな制度の内容を詳しく聞き、どうしたら上手くこの指標を活用し、里山活動を身近なものにしていけるか、十分な意見交換をし、本制度の使い方を、企業、県や市町村、森林関係者に提案をおこなっていきたいと考えています。関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。



イラスト 松下優子